



2022年5月10日

各位

会社名 飯野海運株式会社
代表者 代表取締役社長 當 舎 裕 己
コード番号 9119 (東証プライム・福証)
問合せ先 SR広報部長 羽 山 晶 子
(TEL 03-6273-3069)

2022年3月期通期連結業績予想と実績値の差異及び剰余金の配当に関するお知らせ

2022年2月8日公表の2022年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績における差異に関して、下記の通りお知らせ致します。

また、本日開催の取締役会において、2022年3月31日を基準日とする剰余金の配当予定額を決議致しましたので、下記の通りお知らせ致します。本件は、2022年6月28日に開催予定の定時株主総会に付議する予定です。

記

1. 業績予想と実績値の差異

1) 2022年3月期通期連結業績予想数値と実績値の差異(2021年4月1日～2022年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------|----------------|--------------|--------------|-------------------------|----------------|
| 直近の業績予想(A) (2022年2月8日発表) | 百万円 103,000 | 百万円 5,900 | 百万円 6,800 | 百万円 10,000 | 円 銭 94.51 |
| 実績値(B) | 104,100 | 7,524 | 9,431 | 12,526 | 118.39 |
| 増減額(B-A) | +1,100 | +1,624 | +2,631 | +2,526 | |
| 増減率(%) | +1.1% | +27.5% | +38.7% | +25.3% | |
| (ご参考)前期実績 (2021年3月期) | 88,916 | 6,831 | 6,810 | 7,655 | 72.35 |

2) 差異の理由

主にケミカルタンカー市況が想定より高い水準で推移したことで、営業利益は直近の業績予想を上回りました。また、事業投資先からの配当金が増加したことや、当第4四半期に為替が大きく円安(対US\$)に振れたこともあり、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は直近の業績予想を大幅に上回りました。

2. 剰余金の配当

1) 配当の内容(期末配当)

| | 決定額 | 直近の配当予想 (2022年2月8日公表) | 前期実績 (2021年3月期) |
|----------|------------|--------------------------|--------------------|
| 基準日 | 2022年3月31日 | 2022年3月31日 | 2021年3月31日 |
| 1株当たり配当金 | 25.00 円 | 18.00 円 | 16.00 円 |
| 配当金の総額 | 2,645 百万円 | — | 1,693 百万円 |
| 効力発生日 | 2022年6月29日 | — | 2021年6月28日 |
| 配当原資 | 利益剰余金 | — | 利益剰余金 |

2) 理由

当社は長期的な企業価値の向上によって安定配当を継続することに加え、配当額と利益成長との連動性を高めるため、通期業績に対して配当性向30%を基準とした配当を継続していくことを基本方針としております。

期末配当金につきましては、2022年3月期通期連結業績及び前述の基本方針を踏まえ、直近の配当予想から1株当たり7円00銭増額の25円00銭とし、通期で36円00銭の配当を予定しております。

以上